平成２７年度事業報告

羽曳野市社会福祉協議会（以下「当会」という。）は、第２期羽曳野市民福祉活動計画の最終年度に当たり、安心して健康で暮らせる社会の実現をめざして、区長や民生・児童委員をはじめとする地域の皆さま、関係団体のご協力ご支援を受け、また行政や府社会福祉協議会、専門機関などと連携しながら、各種の地域福祉・在宅福祉活動などを推進しました。平成２７年度においては、市の第３期羽曳野市地域福祉計画と連携しながら、その実践版として「一人ひとりの想いをつなぎ　結びあう地域づくり」を基本理念に、平成２８年度から５年間を計画期間とする第３期羽曳野市地域福祉活動計画を策定しました。

地域福祉活動では、校区福祉委員会連絡会事業として、校区福祉委員会の役員を対象に、小地域ネットワーク活動リーダー研修会や災害時要援護者支援リーダー研修会などを開催し、地域リーダーの育成に努めました。

福祉に関係する市内の社会福祉法人が連携･共同して地域福祉に取り組むために25年度に結成された「地域と福祉をつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）」では、福祉施設における防火心得、福祉施設職員のためのボランティアの受け入れについての研修を実施しました。

地域交流事業では、各校区の校区福祉委員会が主体となって実施していただいている「いきいきサロン」「ふれあい食事サービス」「世代間交流」「子育てサロン活動」「小地域ネットワーク活動」「ふれあいネット雅び」などの活動に参画・支援を行い、地域住民による支えあい助けあいを促進するとともに、地域課題の解決に向けて努力しました。

コミュニティソーシャルワーカー事業では、個別支援活動を行うとともに、地域支援活動では、いつ起こるかわからない災害に備える「災害時要援護者ネットワーク構築事業」に力を入れ、説明会や研修会には520人の皆さまに参加していただきました。災害時要援護者登録台帳への登録者数は、昨年より419人増えて6,728人となっており、毎年増加傾向にあります。

「老人会食会事業」は、民生・児童委員やボランティアの皆さまのご協力により実施し、2,216人の参加がありました。

低所得者層の生活向上や高齢者・身体障がい者の属する在宅福祉の向上を図るため、大阪府が実施する貸付事業の相談・受付業務を行っている「生活福祉資金貸付事業」では、福祉資金や教育支援資金は増加したが、不動産担保型生活資金は貸付がなく31,923千円の貸付決定額となりました。

「子育て支援・サロン活動事業」は、少子化が進む中、市内14校区でほぼ毎月１回行われている「子育てサロン」に、5,816人の参加がありました。

「高年生きがいサロン指定管理事業」では、市内４カ所のサロンの運営を行い、昨年同様多くの皆さまにご利用いただきました。

ボランティア活動の促進では、ボランティアセンターの運営、ボランティア保険の加入、需給調整事業等で、昨年に比べて行事保険が増加しました。　また、社会福祉関係者の育成を図るため、大学の学生17人を実習生として受入れました。

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業は、平成２７年７月１日から始まった介護予防事業のひとつで羽曳野市から委託を受けて行っており、市内の介護施設などでボランティア活動を行うことでポイントを付与し、たまったポイントを換金できる介護支援ボランティアポイント制度です。サポーター受入施設は、56施設で、サポーターとして、216人登録し、活動していただいています。

在宅福祉活動のうち居宅介護支援事業では、昨年と同数の93件の新規相談があり、年度末の利用者数は124人となりました。

ホームヘルプサービス事業では、年度末の利用者数はほぼ昨年と変わらない状況で、13,372時間05分となりました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の社資募集、共同募金、献血推進事業、東日本大震災支援活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

当会が運営する「あおぞら保育園」と「ベビーハウス社協」の２カ所の認可保育園では、保育に欠ける子ども達に、安全で安心な保育を実施するとともに、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や園庭開

放などを実施し、保護者や地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園をめざしました。
　また、ベビーハウス社協においては、大阪府・羽曳野市の補助金を受けて、大規模修繕を行い、より良い保育環境の整備につとめました。
　そして、当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」に、多くの皆さまからあたたかいご協力をいただき、円滑な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。
　また、「社協だより」やホームページ、市の「広報はびきの」などの媒体により、当会の事業計画や報告、予算や決算の状況、活動の内容などの周知を図りました。

　以上のとおり各種受託事業をはじめ、在宅福祉活動や保育園事業などの自主事業においても、健全な運営を遂行する事ができました。
　事業ごとの取組み内容は以下のとおりです。

平　成　２７　年　度　事　業　報　告

■　役員会議

・理事会

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
平成27年5月8日	別館3階会議室	１．平成２６年度事業報告について ２．平成２６年度決算について	１６人
平成27年8月4日	別館2階研修室	評議員の同意について	１３人
平成27年8月4日	別館2階研修室	１．会長・副会長の選出について ２．会長の職務代理者及び常務理事について	１４人
平成28年3月9日	保健センター	１．平成２７年度第１次補正予算（案）について ２．平成２８年度事業計画（案）予算（案）について	１６人

・評議員会

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
平成27年5月8日	別館3階会議室	１．平成２６年度事業報告について ２．平成２６年度決算について	２４人
平成27年8月 4日	別館2階研修室	理事・監事の選任について	２２人
平成28年3月9日	保健センター	１．平成２７年度第１次補正予算（案）について ２．平成２８年度事業計画（案）予算（案）について	２５人

・監査

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
平成27年4月24日	別館3階特別会議室	１．平成２６年度会計監査	２人

■　組織強化

自主財源確保の福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金（平成２８年3月３１日現在）

平成２７年度　２，６４６，８７１円　　累計　１２４，９５１，８６８円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

５，０５４，２４１円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

２４１,０００円

■　社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名　　称	発行回数	発　行　月　等	備　　考
社協だより	年４回発行	5月・8月・１０月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年４回発行	３・６・９・１２月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年１２回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	―――	毎月更新　　http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会　・在宅部会 ・施設部会　　・地域密着部会

■　地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内　　容	場　　所
平成２７年　７月２１日	校区福祉委員会連絡会	別館３階会議室
平成２７年　７月３１日	校区福祉委員会サロン交流会	羽曳野市保健センター4 階会議室
平成２８年　２月１９日	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	国際交流センター
平成２８年　３月１３日	災害時要援護者支援リーダー研修会	別館３階会議室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。
地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

平成２５年１２月に結成した福祉施設連絡会において、総会および研修会を開催し今後の取組みについて話し合うとともに、それぞれ社会福祉法人間での情報交換・交流を深めました。

開催年月日	開　催　場　所	研　修　内　容	参加法人数
平成 27 年 9 月 29 日	保健センター	１．羽曳野市福祉施設連絡会　総会 ２．研修会 福祉施設における防火心得 講師　柏原羽曳野藤井寺消防組合　消防本部　予防課	１６法人
平成 28 年 3 月 18 日	A棟中東会議室	福祉施設職員の為のボランティア受け入れ研修会（共催）	３０法人

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名		各事業の実施箇所数 (単位：箇所)					小地域ネットワーク※2	雅び※3
		いきいきサロン(喫茶サロン含む)	ふれあい食事サービス	地域リハビリ事業	世代間交流	子育て支援(サロン)活動 ※1		
1	古　市	5	5	0	1	1	H11	H15
2	高鷲北	2	2	0	2	1	H11	H14
3	埴　生	6	3	0	1	1	H13	H16
4	埴生南	5	6	0	1	1	H12	H16
5	羽曳が丘	1	1	1	4	1	H10	H14
6	丹　比	4	0	0	1	1	H11	H16
7	駒ヶ谷	0	5	0	1	1	H14	H17
8	古市南	8	3	0	1	1	H14	H15
9	西　浦	2	7	0	1	1	H13	H18
10	西浦東	1	7	0	1	1	H12	H24
11	恵我之荘	2	5	0	4	1	H12	H14
12	白　鳥	4	4	0	1	1	H12	H15
13	高　鷲	1	9	0	1	1	H10	H14
14	高鷲南	6	6	0	2	1	H10	H14
合　計		４７	６３	1	２２	１４		

※１　古市・高鷲南校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※２　小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※３　小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図りました。

・コミュニティソーシャルワーカー事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という２本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動にいかし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

① 地域支援活動

	東　部	西　部	合　計
第２期羽曳野市地域福祉計画の推進 第３期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、 市ＣＳＷ連絡会等	１８回	１８回	３６回
住民懇談会の開催 子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議	５０回	５９回	１０９回
住民活動のコーディネート 町会単位での防災ワークショップ開催	１０回	１０回	２０回
要援護者の組織化支援 介護者家族の会の取組み支援	1回	3回	4回
地域住民などを対象とする研修会の開催 ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	6回	5回	１１回
災害時要援護者支援ネットワーク構築事業 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	２９０人	２３０人	５２０人
ふれあい拠点づくり ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」 喫茶サロン「いしかわ」	6か所	１０か所	１６か所

平成２６年度は災害時要援護者支援ネットワーク構築事業に力を入れました。

② 個別支援活動

（単位：件）

相談内容別	東　部		西　部		合　計	
	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	１０３	１２０	６１	９３	１６４	２１３
生活に関する身近な相談	２８	６０	２０	４０	４８	１００
健康・医療に関する相談	８	６５	１１	２５	１９	９０
生活費に関する相談	２５	８３	２７	５５	５２	１３８
就労に関する相談	２	６	２	９	４	１５
多重債務に関する相談	７	３０	５	２２	１２	５２
財産管理・権利擁護に関する相談	１２	１２０	４	５３	１６	１７３
子育て世帯に関する相談	１０	３０	７	２３	１７	５３
DV･虐待に関する相談	６	６８	４	８	１０	７６
地域福祉, ボランティアに関する相談	１８	２８	１７	２８	３５	５６
災害時要援護者に関する相談	４５	５０	３６	４１	８１	９１
その他	０	０	２	２	２	２
合　計	２６４	６６０	１９６	３９９	４６０	１，０５９

（単位：件）

相談対象者別	東　部		西　部		合　計	
	件数	延べ件数	件数	延べ件数	件数	延べ件数
高齢者	９５	１５６	９２	１４４	１８７	３００
（うち）一人暮らし高齢者	（６５）	（１００）	（６０）	（５７）	（１０３）	（１５７）
（うち）高齢者のみの世帯	（２５）	（４６）	（２６）	（１８）	（４０）	（６４）
（うち）その他の高齢者	（５）	（１０）	（６）	（１０）	（１１）	（２０）
障がい者　※１	４１	２２４	２６	１４６	６７	３７０
（うち）身体障がい者	（４）	（１１）	（４）	（１１）	８	（２１）
（うち）知的障がい者	（７）	（５５）	（５）	（１９）	１１	（７４）
（うち）精神障がい者	（２０）	（１５０）	（１７）	（１１６）	３７	（２６６）
子育て中の親子	１０	４０	２	４	１２	４４
一人親家庭の親子	５	４０	５	３４	１０	７４
青少年	１	２	１	２	２	４
生活困窮者	１０	３５	１４	３３	２４	６８
その他（ボランティア）	２	３	１	３	３	６
合　計	１６４	５００	１４１	３６６	３０５	８６６

※１　障がい者においては、重複障害の方を「１」と数えています

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会・大阪後見支援センターからの委託事業で、対象者は認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方である。平成２６年度は、増加している利用者へのサービスの質の向上を大きな目標としてきました。

相談者	一般相談件数	サービス提供のための訪問回数	新規契約件数	解約件数	年度末実利用者数
認知症高齢者	８３件	２５１回	１件	１件	１０人
知的障がい者	６７件	２９６回	３件	０件	１５人
精神障がい者	１５３件	３８１回	１件	３件	１１人
その他	６件	０回	０件	０件	０人
合計	３０９件	９２８回	５件	４件	３６人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

・心配ごと相談事業

地域内の心配ごとや悩みごとに対処するため、民生委員の協力により心配ごと相談事業を、東部地区・西部地区それぞれほぼ毎月２回実施し、地域福祉の向上に寄与しました。

（取扱件数）　・相談員　　延１３５人

・相談件数　　１０件　（内　東部地区相談件数　３件　・　内西部地区相談件数　４件）

（単位：件）

相談事項	東　部	西　部	相談事項	東　部	西　部
生　　計	1	2	財　　産	0	0
年　　金	0	0	事　　故	0	0
職業・生業	1	0	児童福祉・母子保健	0	0
住　　宅	0	1	教育・青少年	0	0
家　　族	1	0	障がい者（児）福祉	0	0
結　　婚	0	0	母子福祉・父子福祉	0	0
離　　婚	0	0	老人福祉	0	0
健康・保健・衛生	0	0	苦　　情	1	1
医　　療	0	0	そ　の　他	0	0
人権・法律	0	0	合　　計	3	4

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

・老人会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年３回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しました。

【参加人数】　（単位：人）

校　　区	第１期	第２期	第３期	計
古　　市	７１	６８	７６	２１５
古 市 南	９７	８７	８５	２６９
白　　鳥	４３	４５	３９	１２７
高　　鷲	４７	３８	４２	１２７
高 鷲 北	３３	３２	３２	９７
高 鷲 南	２２	３０	２３	７５
恵我之荘	４９	４０	３３	１２２
埴　　生	９２	８５	８５	２６２
埴 生 南	５９	６５	５８	１８２
羽曳が丘	７９	７９	７５	２３３
西 浦 東	２６	２５	１８	６９
丹　　比	４１	４３	４８	１３２
駒 ヶ 谷	５５	５４	５４	１６３
西　　浦	４７	４９	４８	１４４
合　　計	７６１	７４０	７１６	２，２１７

計４２回開催　　延べ参加人数２，２１７人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は配食

・生活福祉資金貸付事業

低所得階層の生活の向上ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区　　分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	２３件	７０件	２２件	１３，２６０千円
教育支援資金	２４件	６８件	２８件	１７，４７８千円
総合支援資金	５件	６件	１件	６００千円
不動産担保型生活資金	２件	１１件	０件	０千円
小口生活資金	１７件	４０件	６件	５８５千円
臨時特例つなぎ資金	０件	０件	０件	０円
合　　計	７１件	１９５件	５７件	３１９２３千円

・災害時要援護者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、町会や校区福祉委員会など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようというものです。また、この制度に登録された方は、そのまま「あんしんシステム」に登録されることになります。

従来の「あんしんシステム」の枠をひろげ、地域の見守り、支えあいの輪がいっそう広がりました。

災害時要援護者

①身体障がい者手帳（１級、２級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
②療育手帳（療育Ａ）の交付を受けている方
③精神障がい者保健福祉手帳（１級）の交付を受けている方
④障がい者手帳をお持ちでお一人暮らしの方
⑤要介護度３以上の方
⑥６５歳以上のお一人暮らし、７５才以上のみの世帯
⑦昼間のみ⑥の状態になる方
⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（平成２７年３月末現在）

古　市	高鷲北	埴　生	埴生南	羽曳が丘	丹　比	駒ヶ谷	古市南
７４１人	２９１人	６９５人	５７３人	７２９人	４８０人	１４７人	６０２人

西　浦	西浦東	恵我之荘	白　鳥	高　鷲	高鷲南	合　計
３９４人	１９７人	４８５人	２６９人	４９２人	６３３人	6，７２８人

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が行われました。

校区ごとの参加人数

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
５７７人	６１７人	５９６人	５４２人	３９１人	４１３人	６１８人	１４２人

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合　計
４１５人	２４０人	７４５人	１８２人	２４４人	９４人	５，８１６人

■高年生きがいサロン指定管理事業

介護予防を目的に、高齢者が自宅に閉じこもることなく地域の他の高齢者の方々とともにリハビリや趣味活動などの交流を通じて生き生きと健康にすごせるよう促進を図りました。

利用人数　　（単位：人〔延〕）

区分	入 浴	カラオケ	囲碁・将棋	バンパー	筋トレ（フォロー）	介護予防	団体利用	卓球	合計
２号館	1，８０４	0	１６８	2	1，４３４	3，２３２	1，６１２	0	8，２５２
３号館	3，１０４	0	0	0	0	1，６５１	2，９１４	0	7，６６９
５号館	1，９６８	2，６６４	６２	2，３８１	1，２２４	1，００２	1，１１０	1，９１４	１２，３２５
６号館	2，７１１	3，５０３	1，７１１	６８５	2，８１５	3，８１６	5，８７５	５５３	２１，６６９
合計	9，５８７	6，１６７	1，９４１	3，０６８	5，４７３	9，７０１	１１，５１１	2，４６７	４９，９１５

■　ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数　　２６３日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動できるようボランティア保険への加入促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	２２０件	２１７件	3件	1件	４４１件
人数	１，８２６人	２０，８６０人	１２人	8人	２２，７０６人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
１６５件	１３１件	７６件	５１件	２４件	３２９件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しました。

講座名	日程・場所	内容
ボランティア体験プログラム	平成27年7月1日～9月30日	子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用して少しだけボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会などに受入れてもらって開催した。
傾聴ボランティア養成講座	平成27年6月22日・29日、9月16日、10月7日	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催した。(6月22日・29日は初心者は必ず参加する養成講座、9月16日・10月7日はスキルアップ研修会)
平成27年度朗読ボランティア河南ブロック代表者会議	平成27年7月21日	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、今年度は羽曳野市にお招きした。事前アンケートに答えてもらい、集計したものを配布した上でグループワークをおこなった。その後、自己紹介も兼ねて一人ずつグループワークで学んだことや感想を述べてもらった。
小学生ボランティアスクール	平成27年8月20日	小学生一人ひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
市民活動わくわく講座4月調理ボランティア養成講座	平成27年4月8日・15日・22日	調理という身近な特技を活かすボランティア活動の存在を広めた。ボランティア活動は特別なことができないと参加できないという固定観念を持った方の意識を変えることを目的とした。また、グループ内での人員不足が課題となっていたため養成講座を通して入会いただける方を募った。
市民活動わくわく講座5月農園芸ボランティア養成講座	平成27年5月8日・15日・22日	農園芸が好きで、人と関わることが好きな市民の方々は多数いると予測して、自分の趣味を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動を啓発することを目的とした。
市民活動わくわく講座11月歌声ボランティア養成講座	平成27年11月16日・24日・30日	閉じこもりがちな高齢者に歌声の場への参加を促して、みんなで一緒に歌うことで高齢者へ元気と生きがいを提供するボランティアグループに参加するきっかけを提供した。
市民活動わくわく講座1月傾聴ボランティア養成講座	平成28年1月8日・15日・22日	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として開催した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかった。
社会福祉施設等ボランティア関係職員研修会	平成28年3月18日	羽曳野市内の社会福祉施設でのボランティア受け入れについて、各施設での困りごとや工夫などを共有する場を設けた。またボランティア受け入れによって、施設やご利用者さんの理解促進・地域社会との架け橋・サービスの質や量の拡充があることを周知した。

精神保健福祉 ボランティア養成講座	平成 27 年 11 月 19 日・26 日、12 月 3 日・10 日	精神障がい者が抱える心の病を正しく理解し、当事者の方の社会復帰と社会参加の促進協力、理解を深めることを目的に開催した。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民又、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	平成 27 年 5 月 29 日/羽曳野市役所別館 2 階研修室
定例幹事会	毎月第２水曜日
その他主な活動 大阪府社協ボランティア連絡会総会 エコイベント 市民体育祭 小学生ボランティアスクール 河南ブロック交流会 市民活動フェスタ 2015 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室 福祉教育	平成 27 年 5 月 21 日/大阪社会福祉指導センター5 階ホール 平成 27 年 7 月 25 日・26 日/ＬＩＣはびきの 平成 27 年 6 月 14 日/石川第一グラウンド 平成 27 年 8 月 20 日/市役所Ａ棟東中 平成 27 年 10 月 23 日/東大阪市花園ラグビー場 平成 28 年 3 月 20 日/エコプラザはにふ 随時 随時 随時

■実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	６人	平成２７年5月１１日～5月１５日	２日間
大阪府立大学	６人	平成２７年5月１８日～5月２２日	２日間

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	２人	平成２７年　6月１日～　7月３日	１８０時間　２３日以上
四天王寺大学	１人	平成２７年１１月９日～１１月２２日	１０日間
四天王寺大学	１人	平成２７年１１月９日～１１月１５日	５日間

・介護福祉士介護実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
関西女子短期大学	１人	平成２７年　3月２日～　3月１３日	１０日間

■きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成２７年７月１日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

〇きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

既存ボランティア向け説明会の実施	平成２７年　6/１７　　７３人
きらきらシニアプロジェクトはじめて講座 カリキュラム ボランティアとは 認知症について コミュニケーションスキルについて 介護の現状ときらプロの制度説明及び手帳交付 合計　３時間	平成２７年　7/２７　　８０人 8/１３　　１７人 9/１５　　１１人 １０/１６　　１４人 １２/２２　　１０人 平成２８年　2/１８　　１１人

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

〇サポーター（ボランティア）登録者数　２１６人

既存ボランティア　（１７８人）　　個人（３８人）

〇施設における対象となる主なサポーター活動内容

市が指定した市内の介護保険施設などにおける次の介護保険支援サポーター活動

★施設行事（誕生日会、クリスマス会、夏祭り）における会場設営などの補助

★施設で行うレクリエーションの参加支援やその補助

（体操、歌唱、手品、漫才、影絵、囲碁、将棋、朗読、紙芝居、人形劇、フラダンス、日本舞踊、ハーモニカ、ピアノ演奏、物づくりなど）

★お茶出し、食器洗い、配膳や下膳の補助

★施設入所の話し相手

★軽作業（草取り、園芸、洗濯物整理、シーツ交換、清掃など）の補助

サポーター受入施設　５６施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設登録しています。

■　在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

・新規相談件数　・・・９３件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
利用者数	２６人	５２人	２８人	１２人	６人	１２４人
内 27 年度新規	１６人	２５人	１１人	６人	０人	５８人

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要支援１	要支援２	計
利用者数	１３人	１４人	２７人
内 27 年度新規	６人	６人	１２人

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数)　　６４件

(生活保護法介護扶助)　２０件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

介護度別利用状況（年度末現在利用者数）　東部

	要支援	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	障がい者世帯	計
利用者数	２１人	５人	１２人	３人	３人	２人	３人	４９人
内 27 年度新規	４人	１人	３人	３人	１人	０人	０人	１２人

内容別年間派遣時間数　東部　　(単位：時間)

	要支援	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,293:00	476:00	1,093:40	307:55	373:55	0:00	3,544:30	248:55	3,793:25
身体介護		0:40	234:31	99:08	170:45	400:45	905:49	645:51	1,551:40
身体生活		35:12	293:56	320:50	280:10	30:53	961:01		961:01
通院･身体								166:50	166:50

合計	1,293:00	511:52	1,622:07	727:53	824:50	431:38	5,411:20	1,061:36	6,472:56

介護度別利用状況（年度末現在利用者数）　西部

	要支援	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	障がい者世帯	計
利用者数	１５人	７人	１１人	７人	２人	０人	９人	５１人
内 27 年度新規	９人	１０人	４人	３人	３人	１人	４人	３４人

内容別年間派遣時間数　西部　（単位：時間）

	要支援	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,363:38	352:16	602:23	158:30	117:49	9:00	3,603:36	503:03	3,106:39
身体介護		19:35	129:42	159:18	188:08	71:54	568:37	1,302:05	1,870:42
身体生活		12:50	801:25	1,033:59	6:40	58:25	1,913:19		1,913:19
通院・身体								8:29	8:29
合計	1,363:38	384:41	1,533:30	1,351:47	312:37	139:19	5,085:32	1,813:37	6,899:09

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを実施しました。

【実施状況】利用登録者数７６人　協力ボランティア１１人

月別利用状況

利用月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
出動回数	１１回	１０回	１０回	１３回	１０回	１１回	９回	９回	８回	７回	８回	６回	１１２回

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
貸出件数	３３件	３５件	３３件	２８件	３０件	３３件	３２件	２８件	２８件	２６件	２４件	３４件	３５４件

【斡旋】

紙オムツ・防水シーツ・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

■介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を図りました。

日時	事業内容	場所	参加者
４月９日（木）	研修会【川村義肢視察】	川村義肢株式会社	１８人
５月８日（金）	役員会	別館２階研修室	８人
５月２６日（火）	総会	別館２階研修室	３０人
６月１２日（金）	介護者のつどい【傾聴ボランティア　交流会】	別館２階研修室	１５人
７月１７日（金）	役員会	別館２階研修室	４人
７月２４日（金）	介護者のつどい【福祉用具事業所　交流会】	西部事務所	１０人
９月１８日（金）	介護者のつどい【交流会】	西部事務所	１１人
９月１８日（金）	役員会	西部事務所	６人
１０月３０日（金）	リフレッシュバスツアー【六甲高山植物園　六甲ガーデンテラス】	兵庫県　六甲山	３４人
１１月２７日（金）	役員会	別館２階研修室	６人
１１月３０日（月）	介護者のつどい【手づくりボランティア　交流会】	別館２階研修室	１２人
１月２９日（金）	研修会【知って得する！高齢者の食と栄養】	保健センター	３３人
２月１２日（金）	介護者のつどい【地域包括支援センター　交流会】	西部事務所	１２人
２月１２日（金）	役員会	西部事務所	６人
３月３１日（木）	研修会【介護者の健康づくり講座】	別館２階研修室	１４人

（その他）　・大阪府介護者（家族）の会連絡会総会　６月５日（金）
・大阪府介護者（家族）の会連絡会　発足２０周年記念講演会　９月１８日（金）
・大阪府介護者（家族）の会連絡会全体活動交流会　２月１５日（木）
・河南ブロック介護者（家族）の会交流会　２月２６日（金）

■各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える資

金である社資募集に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	６３５，８００円	丹比地区	３０１，０００円
高鷲地区	１，４７３，２３７円	日赤奉仕団扱い	４６７，８３９円
埴生地区	５７２，６６０円	事務局扱い	２１，１０６円
羽曳が丘地区	９２２，０５０円	大阪支部扱い	１，９６０，０５１円
駒ケ谷地区	２３１，０００円		
西浦地区	１，１９６，５７５円	合　　計	７，７８１，３１８円

【事業】・羽曳野市奉仕団研修　　平成２７年４月２８日（2F 研修室）
・羽曳が丘地区奉仕団研修　　平成２６年６月１２日（モモプラザ）
・恵我之荘地区奉仕団研修　　平成２６年９月　５日（恵我之荘集会所）
・丹比河原城地区奉仕団研修　　平成２７年３月２８日（河原城公民館）

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】　：　平成２７年１０月１日／午前７時から近鉄各駅・スーパー前で実施

【共同募金実績額】

戸別(町会等)	法　人	学　校	街　頭	バッジ	実績額
3,312,259 円	108,511 円	224,833 円	176,320 円	622,500 円	4,444,423 円

(町会別実績額)

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	５６０，４５０円	丹比地区	１６１，５１０円
高鷲地区	１,０３５，３３５円	西浦地区	３８３，９６０円
埴生地区	４７７，５５０円	駒ケ谷地区	１３３，９００円
羽曳が丘地区	５２２，３９５円	事務局取扱い	２２,０００円
合　　計		３，２９７，１００円	

※地区募金会理事会　平成２７年８月２７日（市長会議室）

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	４３３，７００円	丹比地区	２１０，７６０円

高鷲地区	６９６，５５０円	西浦地区	２７０，６４０円
埴生地区	５７５，２５０円	駒ケ谷地区	１１８，６００円
羽曳が丘地区	３５５，８５５円	事務局取扱分	１３９，４０７円
合　　計		２，８００，７６２円	

（民生委員校区別実績額）

校　区　名	実　績　額	校　区　名	実　績　額
古市校区	６４６，３００円	高鷲南校区	１４７，０００円
古市南校区	１００，５００円	高鷲校区	２９４，６６６円
白鳥校区	３３３，７００円	駒ケ谷校区	１０９，０００円
埴生南校区	１１１，４０６円	高鷲北校区	２６６，０００円
埴生校区	１２７，０００円	丹比校区	３２６，０００円
西浦校区	２０６，５００円	恵我之荘校区	３３４，０００円
西浦東校区	１３０，０００円	主任児童委員	４１，０００円
羽曳が丘校区	１４，０００円		
合　　計		３，１８７，０７２円	

※　配分委員会　平成２７年１２月２日（保健センター４階　大会議室）

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議　：　平成２７年４月２１日（別館３階会議室）

・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内等において献血キャンペーン用のポケットティッシュを配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ｍｌ採血	400ｍｌ採血
１，６８９人	１，３５２人	６０人	１，２９０人

・東日本大震災支援活動

・義援金の受付
平成２３年３月１４日から受付窓口を開設。同時に義援金箱２０個を市内公共施設に設置しました。
平成２８年３月末現在　　４４，５７９，２４８円
（社協受付分　　全額　日本赤十字社大阪府支部に送金）

■　保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	138	139	141	144	144	147	146	147	148	151	151	151	1,747

※認可定員：１２０人

保育内容

入園式・家庭訪問（新入園児）・検便(年１回)・検尿検査（年２回）
嘱託医よる健康診断(年２回)歯科検診（年１回）・保育参観（年２回）・園外保育（年８回）
クラス懇談会（年２回）・個人懇談・七夕まつり・お泊り保育・運動会・クリーン活動・保幼交流
芋掘り・味覚狩り・作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会
雪山遊び・節分・生活発表会・古市小学校体験入学・お別れバス遠足・お別れ会・卒園式・食育
クッキング・ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会（毎月１回）

延長保育

【朝の延長：７時～７時半】　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	34	18	31	21	13	50	34	14	12	13	11	16	267

【夕方の延長：１８時半～１９時】　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	58	55	57	75	45	54	48	42	51	64	47	64	660

特別教室の実施

・ECC 英会話教室
・体育指導
　※　３歳児より導入

子育て支援事業

・育児相談（開園中常時）
・園庭開放（年10回）
・子育て支援自主事業
（年令別に5ヶ月間地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う）
・子育てサロン参加（年7回）

地域交流

・世代間交流（地域の高齢者を招いて給食会を行う）
・夕涼み会（園児、卒園児、地域住民と交流）
・敬老の日の集い（園児のおじいちゃんおばあちゃんを招待）
・在宅複合施設ステップ訪問(施設の利用者と交流)　2月
・クリスマス会（地域の親子参加）
・新年子どもの会（地域の親子参加）
・ひな祭り（地域の親子参加）
・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）
・南大阪ブロック民間保育園サッカー大会参加（南大阪民間保育園と交流）
・園児の祖父農園（いちご狩り、とうもろこし収穫、芋掘り）
・古市幼稚園・誉田保育園交流　6月　10月　1月　　計3回
・誉田中学校職業体験受け入れ　　2日間　6人
・峰塚中学校職業体験受け入れ　　2日間　6人
・河原城中学校職業体験受け入れ　　2日間　4人
・懐風館高等学校職業体験受け入れ　1日間　2人
・他施設実習生　　6月　2人
・教育実習生受け入れ　　8月　1人　　9月　2人　　1月　1人
2月　3人　　計7人
・ボランティア体験学習の受け入れ　　8月　3人

職員研修

園長・事務員研修
・保育新制度セミナー　6/8
・よい子ネットＰＣ　12/11
・スマイルサポーターフォロー研修、親睦会　12/16
・ほのぼの財務会計研修　12/16
・メンタルヘルス　1/25, 27
・制度改革対応セミナー　2/8

保育士研修
・スマイルサポーターフォロー研修　2 人(4/30)
・マーチング講習会　1 人（5/9）
・子どもの事故防止　1 人（5/27）
・子どもと楽しむ音楽あそび　1 人（6/13）
・主体性と意欲を育てる保育　1 人(6/24)
・感染症食中毒予防対策講習会　1 人(6/16)
・食事提供　1 人（6/17）
・衛生管理　2 人（6/18）
・外遊び体育指導法　4 人（6/22, 11/20）
・救命講習会　15 人(6/18)
・乳幼児の健康と安全面　1 人（7/10）
・職員会議の上手な進め方　2 人（7/22）
・家庭支援　2 人(8/27)
・療育から見た発達障害　1 人（8/29）
・発達支援　1 人（8/22）
・スマイルサポーターフォロー研修　1 人(9/2、12/16)
・高血圧予防　1 人（10/29）
・感染症予防　2 人(11/4)
・主任保育士研修会　1 人（11/11, 12, 13）
・子どもの虐待防止　1 人(1/13, 19)
・生活課題を抱える保護者支援　1 人（11/12）
・子どもの貧困問題　2 人（10/30）
・ピカピカ泥だんご作り　2 人（11/21）
・スマイルサポーター養成　1 人（10/26, 11/17, 12/17, 1/29, 2/10）
・子どもの意欲を育てる保育　2 人（11/24）
・子育て支援講座　1 人(2/5)
・地域貢献事業　1 人（3/10）

ベビーハウス社協

月別園児数　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
園児数	100	104	110	110	110	110	109	108	109	109	109	108	1, 296

※認可定員：９０人

保育内容

入園・進級式、個人懇談(年１回)、クラス懇談、参観(年２回)、幼児遠足(春・秋)、乳児お散歩遠足、こいのぼり見学(年長児)、お泊まり保育、便・尿・内科検診(年２回)、歯科検診、七夕まつり、プール開き、消防消火訓練消防車見学、運動会、クリスマス会、大そうじ、クッキー作り、節分、ひなまつり、ゆめっこの会、お別れ遠足、卒園式、さくらんぼ&いちご狩り（４，５歳)、
じゃがいも掘り（４・５歳)、さつまいも掘り（幼児)、ぽっぽ交流（年３回)

毎月１回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：７時～７時半】 (単位：人)

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
園児数	99	79	76	75	60	89	106	97	99	100	82	107	1,069

【夕方の延長：１８時半～１９時】 (単位：人)

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
園児数	77	65	85	47	37	56	48	37	60	42	35	46	994

緊急一時保育

７時～２２時（日・祝日は９時～１７時）

月別園児数 (単位：人)

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
羽曳野市内の園児数	184	223	229	237	236	240	298	293	341	300	323	363	3,267
他市町村の園児数	17	34	35	25	17	35	34	29	30	35	27	26	344

家庭支援推進保育所事業（育児相談・家庭訪問）

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・２２件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・１４件

出前保育・出前育児相談・・・６１件

子育て支援事業

・園庭開放（ベビっこひろば）（年９回）

・ベビーハウスまつり（年１回）(6/7)

・子育てサロン（年１０回）

・ベビーハウス体験保育（年２回）(6/25、11/25)

地域交流

・子育てサロン恵我之荘（年長）(5/11・11/２)
・お年寄り会食会（北宮中部公民館）に年長組が参加し交流
・西松庵のお年寄りの方との交流
・高鷲南中学職業体験学習の受け入れ　３人（２日間）(11/11、12)
・高鷲中学職業体験学習の受け入れ　　３人（２日間）(11/19、20)
・教育実習生の受け入れ　　６月１人、７月２人、８月２人、１月２人、延７人
・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ　３９人（12/１）
・社協実習生受け入れ（四天王寺大学）２名（6／23・７／７）
・じゃがいもほり（尼丁さん）(6/10)
・さくらんぼ狩り&いちご狩り（５／８）
・さつまいもほり（尼丁さん）(11/６)

職員研修

園長研修

・保育新制度セミナー　園長（6/8)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領研修会（10／27)
・メンタルヘルスに関する研修会（１／２５・１／２７）
・社会福祉法人制度改革対応セミナー（２／８）

保育士研修

・新人園内研修　７名
　危機管理園(4/７)・一時保育について（4/17)
・衛生管理研修 ４人(6/２４)
・救急蘇生ＤＶＤによる園内研修（全職員）（６／２４～/２６）
・新人研修　「プール活動　塩素の取り扱いについて」５名　(7/３)
・幼児教育大講習会（ひかりのくに）２名（8/4)
・感染症食中毒予防対策講習会　１人
・マナー研修　８名（９／4)・10名（10／23)
・保育園職員全体研修　４名（11／26)
・スマイルサポーターフォローアップ研修２名（１２／１６）